

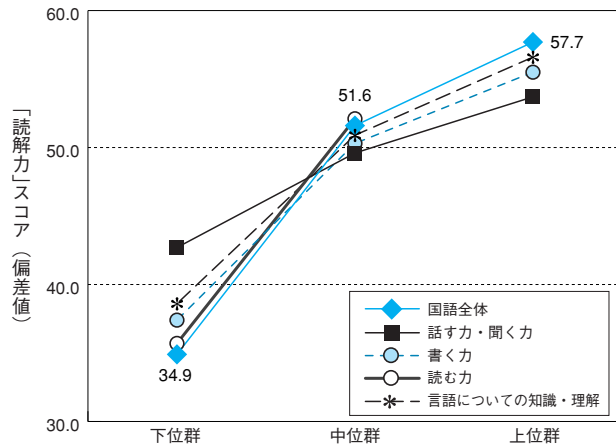
4

「読解力」と教科学力との関係

下の図表は、小5生について、「読解力」のスコアと、国語全体ならびに各観点別の成績との関係(図表4-1)、および、同様に算数全体ならびに各観点別の成績との関係(図表4-2)を示している。

「読解力」と、国語や算数(数学)の教科学力との間には正の相関がある。

図表4-1 「読解力」と国語の成績との関係 <小5生>



| | 「読解力」スコア(偏差値) | | | 「読解力」との相関係数 |
|--------------|---------------|------|------|-------------|
| | 下位群 | 中位群 | 上位群 | |
| 国語全体 | 34.9 | 51.6 | 57.7 | 0.68 |
| 話す力・聞く力 | 42.7 | 49.6 | 53.7 | 0.31 |
| 書く力 | 37.4 | 50.3 | 55.5 | 0.58 |
| 読む力 | 35.7 | 52.1 | — | 0.63 |
| 言語についての知識・理解 | 38.6 | 50.9 | 56.6 | 0.60 |

下位群・中位群・上位群は、それぞれ、国語全体または各観点別の成績を偏差値換算した場合の、偏差値40未満、40以上60未満、60以上に該当する子どものグループを示す。「—」印は、該当なしを表す。下記も同様。

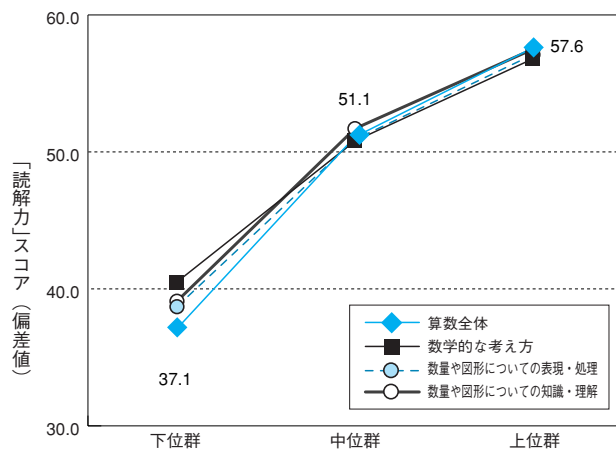
「読解力」のスコアと、国語ならびに算数の成績とは、ともに正の相関関係が認められ、「読解力」は、国語のみならず算数の学力とも密接な関係があることを示唆している。

観点別の相関をみると、国語では、「読む力」との相関が最も強く、「話す力・聞く力」との相関が最も弱いことがわかる(ただし、国語の学力到達度調査では、「話す力・聞く力」の観点の出題は、音声の聞き取りに基づく出題となっており、「話す力」の観点を直接測定するものではないことに注意)。他の観点も、相関係数($-1 \leq r \leq 1$)で、0.6程度の相関を示している。

算数では、「数量や図形についての表現・処理」との相関が最も強く、「数学的な考え方」との相関がやや弱いという結果になっているが、後者についても、0.6程度の相関係数となっている。

以上のことは、「読解力」の向上は国語や算数の教科学力の育成とは無関係ではないことを示している。しかし、同時に、相関係数が0.6程度であることから、「読解力」向上のためには必ずしも現行の教科の指導に還元できない指導要素もあることがうかがえる(例えば、「学級力」の育成など)。

図表4-2 「読解力」と算数の成績との関係 <小5生>



| | 「読解力」スコア(偏差値) | | | 「読解力」との相関係数 |
|-----------------|---------------|------|------|-------------|
| | 下位群 | 中位群 | 上位群 | |
| 算数全体 | 37.1 | 51.1 | 57.6 | 0.69 |
| 数学的な考え方 | 40.5 | 50.8 | 56.8 | 0.59 |
| 数量や図形についての表現・処理 | 38.7 | 50.9 | 57.1 | 0.66 |
| 数量や図形についての知識・理解 | 39.1 | 51.7 | 57.5 | 0.64 |

中2生についても、同様な傾向を示しているが、国語、数学ともに「読解力」との相関がやや弱くなる傾向がある(国語：0.65、数学：0.62)。「読解力」との相関が最も強い観点は、国語、数学ともに小5生の場合と同じである。「読解力」との相関は、数学に比べて国語のほうが相対的に強くなっている。

5 「読解力」と「学びの基礎力」との関係

図表5-1の設問は、「学びの基礎力」4領域に関わる設問のうち、「読解力」との間の相関が顕著な項目を抽出したものである。各項目で「とてもあてはまる」および「まああてはまる」と回答した者を「肯定群」、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と回答した者を「否定群」として分類し、両群の「読解力」スコアを比較している。

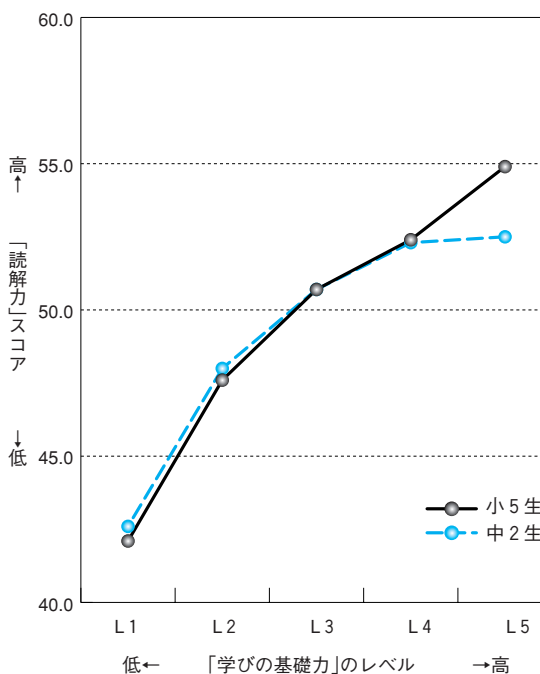
右の図表5-2は、子ども各人について下表のすべての設問の回答スコアの合計を5つの段階にレベル分けし、そのレベルと「読解力」スコアとの関係を示したものである。下表に表れている各設問の「読解力」スコアへの寄与が累積的に積み上がっていることが見て取れる。（この結果は、前回報告した教科学力と「学びの基礎力」との関係と同様である。）

「学びの基礎力」が高い子どもほど「読解力」が高い。

図表5-1 「読解力」と「学びの基礎力」各項目との関係

| | 設 問 | 群 | 「読解力」スコア(偏差値) | |
|----------------------------|--|------|---------------|------|
| | | | 小5生 | 中2生 |
| 豊かな基礎体験 | 自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。 | 肯定 | 50.4 | 50.3 |
| | | 否定 | 48.0 | 47.9 |
| | 家族は自分のことを気にかけてくれていると思う。 | 肯定 | 50.5 | 50.5 |
| | | 否定 | 46.6 | 47.3 |
| | 学校の先生は、自分のことを認めてくれていると思う。 | 肯定 | 51.3 | 51.4 |
| | | 否定 | 47.5 | 47.8 |
| 学びに向かう力 | 学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。 | 肯定 | 51.1 | 51.0 |
| | | 否定 | 47.4 | 48.2 |
| | 学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。 | 肯定 | 50.7 | 50.5 |
| | | 否定 | 44.6 | 48.7 |
| | 努力すれば、自分もたいていのことはできると思う。 | 肯定 | 50.5 | 50.2 |
| | | 否定 | 46.9 | 48.9 |
| ものごとを最後までやりとげて、うれしかった事がある。 | 肯定 | 50.6 | 50.5 | |
| | 否定 | 45.4 | 46.4 | |
| 自ら学ぶ力 | 自分で勉強の計画を立てている。 | 肯定 | 51.5 | 51.3 |
| | | 否定 | 48.3 | 49.1 |
| | 授業で習ったことはそのままおぼえるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。 | 肯定 | 52.4 | 52.2 |
| | | 否定 | 47.6 | 47.7 |
| | 授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。 | 肯定 | 52.1 | 51.6 |
| | | 否定 | 47.6 | 48.3 |
| 宿題はきちんとやっている。 | 肯定 | 51.1 | 51.3 | |
| | 否定 | 44.1 | 46.2 | |
| 学びを律する力 | 興味を持ったことを、自分から進んで勉強している。 | 肯定 | 51.0 | 50.7 |
| | | 否定 | 47.9 | 48.9 |
| | わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。 | 肯定 | 51.6 | 52.4 |
| | | 否定 | 47.4 | 47.5 |
| | 人の話は最後まで、きちんと聞いている。 | 肯定 | 50.9 | 50.7 |
| | | 否定 | 47.4 | 48.0 |
| 熱心に授業を受けている。 | 肯定 | 51.7 | 51.4 | |
| | 否定 | 47.1 | 47.3 | |

図表5-2 「読解力」と「学びの基礎力」との関係



「学びの基礎力」のレベルは、左の表にある設問の回答スコア合計に基づき、上位から7%、24%、38%、24%、7%の割合に準ずる形でL5からL1の5段階を設定している。次ページの「社会的実践力」についても同様。

「学びの基礎力」について見た「読解力」上位層の特徴的プロフィール

- | | |
|---|--|
| <p>豊かな基礎体験</p> <p>学びに向かう力</p> <p>自ら学ぶ力</p> <p>学びを律する力</p> | <p>① 家族や友人、教師との良好な信頼関係ができている。</p> <p>② 知的好奇心や感性が豊かで、学習の楽しさやおもしろさを感じている。</p> <p>③ 学習の役立ちや大切さを積極的に認めている。</p> <p>④ 物事をやり遂げた経験や喜びを味わっている。</p> <p>⑤ 繰り返しだけでなく、関連させて覚えるという方略も取り入れている。</p> <p>⑥ 学習の計画やめあてを持って取り組んでいる。</p> <p>⑦ 家庭での学習時間を確保し、宿題をきちんとやっている。</p> <p>⑧ 分からない事はそのままにせず、分かるまでがんばっている。</p> <p>⑨ 学校の授業を大切にしている。</p> |
|---|--|

※上に見たプロフィールは、教科学力上位層に対するものと同じであり、「学びの基礎力」は、教科学力だけでなく、「読解力」向上についても共通した基盤となっていると考えられる。

6

「読解力」と「社会的実践力」との関係

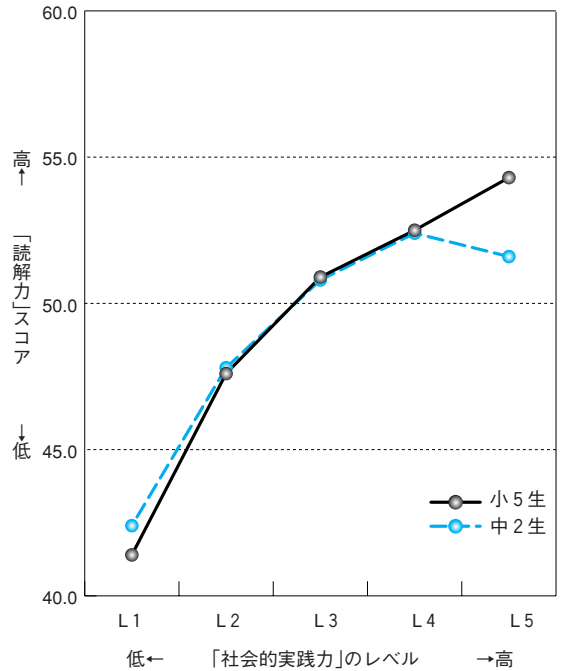
前ページと同様に「社会的実践力」の自己評価と「読解力」スコアとの関係を見たものが下の表とグラフである。

「社会的実践力」が高い子どもほど「読解力」が高い。

図表6-1 「読解力」と「社会的実践力」各項目との関係

| | 設問 | 群 | 「読解力」スコア(偏差値) | |
|---------------------------------------|------------------------------------|------|---------------|------|
| | | | 小5生 | 中2生 |
| 問題解決力 | 調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。 | 肯定 | 52.0 | 51.9 |
| | | 否定 | 47.2 | 47.4 |
| | 筋道を立てて、ものごとを考えることができる。 | 肯定 | 52.1 | 52.1 |
| | | 否定 | 47.6 | 47.6 |
| | さまざまな角度からものごとを考えることができる。 | 肯定 | 52.2 | 51.8 |
| | | 否定 | 48.3 | 48.5 |
| | 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。 | 肯定 | 52.0 | 51.7 |
| 否定 | | 48.1 | 48.6 | |
| 筋道のはっきりとしたわかりやすい文章を書くことができる。 | 肯定 | 51.8 | 52.3 | |
| | 否定 | 48.2 | 48.7 | |
| 調べたことを、コンピュータを使ってまとめたり、発表したりすることができる。 | 肯定 | 52.1 | 52.3 | |
| | 否定 | 47.8 | 48.1 | |
| 社会参画力 | テレビのニュースや新聞などを見て、世の中のできごとをよく知っている。 | 肯定 | 51.3 | 50.9 |
| | | 否定 | 47.4 | 48.4 |
| 社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。 | 肯定 | 51.8 | 51.4 | |
| | 否定 | 48.3 | 49.0 | |
| 豊かな心 | 自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。 | 肯定 | 51.3 | 51.1 |
| | | 否定 | 47.1 | 46.9 |
| | むずかしいことでも、失敗をおそれないで取り組んでいる。 | 肯定 | 51.1 | 50.9 |
| | | 否定 | 48.3 | 48.9 |
| | 自分とちがう意見も大切にしている。 | 肯定 | 51.9 | 51.9 |
| 否定 | 47.3 | 46.1 | | |
| 自己成長力 | 自分の意見や考えの誤りに気づいた時には素直に取り下げることができる。 | 肯定 | 51.7 | 51.0 |
| | | 否定 | 45.9 | 48.8 |
| | どんな仕事が自分に適しているのかを知っている。 | 肯定 | 50.5 | 51.3 |
| | | 否定 | 49.7 | 46.9 |
| | 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。 | 肯定 | 50.5 | 50.4 |
| 否定 | | 45.4 | 44.4 | |
| 自分は、周りの人から認められていると思う。 | 肯定 | 51.5 | 51.5 | |
| | 否定 | 47.9 | 48.3 | |

図表6-2 「読解力」と「社会的実践力」との関係



中2生では、L4→L5で、「読解力」スコアの低下が見られるが、全体として「学びの基礎力」の場合と同様な関係が見られる。

「社会的実践力」について見た「読解力」上位層の特徴的プロフィール

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 問題解決力 | ① 筋道を立てて、かつ、多角的に物事を考え、自分なりの意見を持っている。 |
| | ② 調べたことや考えたことを適切な手段で表現している。 |
| 社会参画力 | ③ 社会に対する関心が高く、自分なりの貢献の在り方を考えている。 |
| 豊かな心 | ④ 自分に与えられた課題は、きちんと責任を持ってやり遂げている。 |
| | ⑤ 難しいことにも失敗を恐れず挑戦する積極性を持っている。 |
| | ⑥ 自分と異なる意見も尊重し、協調しながら物事に取り組んでいる。 |
| | ⑦ 自分の誤りに気付いたときには素直に訂正する柔軟性がある。 |
| 自己成長力 | ⑧ 自分の力を伸ばしたいという意志と目標を持っている。 |

※上で見たプロフィールは、「学びの基礎力」の場合と同様に、教科学力上位層に対するものとの共通点が多く見出される。

今回の報告では、「学びの基礎力」「社会的実践力」と教科学力との関係の報告は省いていますが、これらの詳細については、ベネッセ教育研究開発センターのWebサイトに掲載されているものを参照してください。